



平成 25 年 12 月 10 日

各 位

会 社 名 川田テクノロジーズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 川田 忠裕
(コード番号 3443 東証第 1 部)
問合せ先 経理部長 宮田 謙作
(TEL. 03-3915-7632)

(訂正)「平成 25 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 25 年 12 月 2 日付の当社適時開示「過年度決算修正による見込みの概要および決算発表予定日について」でお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 24 年 11 月 9 日付「平成 25 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせします。

訂正箇所が多数に上るため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線 を付して表示しています。

以 上

【訂正後】



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 川田テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東大
 コード番号 3443 URL http://www.kawada.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)川田 忠裕
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)渡邊 敏 TEL 03-3915-7722
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	42,878	11.4	345	△44.1	△150	—	△239	—
24年3月期第2四半期	38,477	△20.9	617	△79.6	742	△90.7	813	△88.8

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △238百万円(—%) 24年3月期第2四半期 825百万円(△88.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	<u>△42.11</u>	—
24年3月期第2四半期	<u>142.82</u>	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	<u>96,276</u>	<u>28,032</u>	<u>28.9</u>
24年3月期	<u>93,748</u>	<u>28,442</u>	30.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 27,859百万円 24年3月期 28,277百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	30.00	30.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	10.3	700	6.1	0	—	0	—	0.00

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期2Q	5,781,070株	24年3月期	5,781,070株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	82,345株	24年3月期	82,068株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年3月期2Q	5,698,876株	24年3月期2Q	5,699,247株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.	四半期連結財務諸表	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	
	第2四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書	
	第2四半期連結累計期間	7
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
	(4) 継続企業の前提に関する注記	10
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
	(6) セグメント情報等	10
4.	補足情報	12
	受注、販売及び繰越高の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復傾向が一部で見られたものの、欧州債務問題や新興国の景気減速等、対外経済環境の不確実性の高まりを背景とした世界景気の下振れ懸念により、依然として先行き不透明な状況が続いています。

建設業界につきましては、公共工事においては震災復興関連の需要増加が見込まれていますが、国や地方の公共投資における復興予算執行の不透明性からその動きは本格化しておらず、低水準で推移しています。また、民間工事においては震災の影響で延期されていた物件の再開や復旧・復興関連需要等から回復基調で推移しているものの、依然として低価格による厳しい受注競争が続いています。

このような状況のもと、当社グループでは受注量の拡大と収益体質の確立を基本方針として、生産性及び品質の向上、受注力及び管理機能の強化、コスト削減等にグループ全社で取り組んでいます。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、受注高は31,279百万円（前年同四半期比13.5%減）、売上高は42,878百万円（前年同四半期比11.4%増）となりました。

収益面につきましては、営業利益は345百万円（前年同四半期比44.1%減）、経常損失は150百万円（前年同四半期は経常利益742百万円）、四半期純損失は239百万円（前年同四半期は四半期純利益813百万円）の計上となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

（鉄構セグメント）

鉄構セグメントにおきましては、売上高は22,487百万円（前年同四半期比1.5%増）と前年実績とほぼ同水準を確保しました。収益面では、原価低減と生産性の向上に努めましたが、建築鉄骨において超高層物件の構造体の変化や厳しい価格競争等を反映して、営業利益は892百万円（前年同四半期比53.5%減）に止まりました。

（土木セグメント）

土木セグメントにおきましては、PC橋梁工事の施工が概ね堅調に推移したことにより、売上高は10,936百万円（前年同四半期比11.9%増）となりました。収益面では、売上高は増加しましたが一時的に採算の厳しい工事の出来高が上がったことなどにより、営業損失176百万円（前年同四半期は営業損失203百万円）と採算を確保するには至りませんでした。

（建築セグメント）

建築セグメントにおきましては、大型案件を含む非住宅系建物の需要が堅調に推移していることに伴い施工高が増加し、売上高は6,246百万円（前年同四半期比52.6%増）となりました。収益面では、継続的なコスト削減に努めた結果、営業利益47百万円（前年同四半期比42.3%増）の計上となりました。

（その他）

その他におきましては、売上高は3,900百万円（前年同四半期比26.3%増）と前年実績に比べ増収となりました。収益面では、連結各社において採算性の改善、販売費及び一般管理費の縮減に努めた結果、営業利益39百万円（前年同四半期は営業損失408百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間における「資産の部」は、96,276百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,527百万円増加しました。これは主に短期借入による資金調達の増加により、現金預金が2,254百万円増加したことによるものであります。

また、「負債の部」は、68,244百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,937百万円増加しました。これは主に支払手形・工事未払金等が1,252百万円増加したこと及び短期借入金が2,005百万円増加したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は28,032百万円となり、前連結会計年度末に比べ409百万円減少しました。これは主に配当を170百万円実施し当四半期純損失を239百万円計上した結果、利益剰余金が減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前期末の30.2%から28.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ、2,242百万円増加し8,523百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、728百万円の資金増加（前年同四半期連結累計期間は3,698百万円の資金増加）となりました。これは主に仕入債務の増加等による資金の増加があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、373百万円の資金減少（前年同四半期連結累計期間は820百万円の資金減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得等による資金の減少があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,885百万円の資金増加（前年同四半期連結累計期間は2,370百万円の資金減少）となりました。これは主に短期借入金の借入による資金の増加があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点で合理的に把握出来るものを反映した結果、通期業績予想につきましては、平成24年8月9日公表の連結業績予想の内容と変更ございません。なお、今後何らかの変化が認識された場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	6,362	8,617
受取手形・完成工事未収入金等	33,043	33,713
未成工事支出金	696	1,196
その他のたな卸資産	646	772
繰延税金資産	17	9
その他	2,250	1,848
貸倒引当金	△217	△11
流動資産合計	42,799	46,145
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	5,160	5,120
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	1,460	1,360
航空機（純額）	1,512	1,343
土地	16,985	16,985
リース資産（純額）	2,543	2,320
建設仮勘定	27	90
有形固定資産合計	27,690	27,222
無形固定資産	880	854
投資その他の資産		
投資有価証券	882	777
関係会社株式	19,277	19,323
長期貸付金	526	518
その他	2,379	2,124
貸倒引当金	△703	△701
投資その他の資産合計	22,362	22,043
固定資産合計	50,933	50,119
繰延資産		
創立費	15	11
繰延資産合計	15	11
資産合計	93,748	96,276

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	20,517	21,770
短期借入金	7,765	9,770
1年内返済予定の長期借入金	6,168	6,663
1年内償還予定の社債	160	210
未払法人税等	78	51
未成工事受入金	3,343	3,686
賞与引当金	792	745
完成工事補償引当金	94	121
工事損失引当金	2,403	1,842
損害補償損失引当金	808	810
資産除去債務	5	5
その他	3,313	2,790
流動負債合計	45,453	48,467
固定負債		
社債	275	620
長期借入金	11,557	11,427
繰延税金負債	45	10
再評価に係る繰延税金負債	1,948	1,948
退職給付引当金	3,207	3,201
役員退職慰労引当金	254	268
事業構造改善引当金	40	40
資産除去債務	142	142
負ののれん	287	277
その他	2,096	1,839
固定負債合計	19,853	19,776
負債合計	65,306	68,244
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	10,368	10,368
利益剰余金	12,771	12,360
自己株式	△276	△277
株主資本合計	27,863	27,452
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100	27
土地再評価差額金	394	394
為替換算調整勘定	△80	△14
その他の包括利益累計額合計	414	407
少数株主持分	164	172
純資産合計	28,442	28,032
負債純資産合計	93,748	96,276

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	38,477	42,878
売上原価	34,771	39,786
売上総利益	3,706	3,092
販売費及び一般管理費	3,088	2,747
営業利益	617	345
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	38	26
受取賃貸料	115	102
負ののれん償却額	10	10
持分法による投資利益	318	—
貸倒引当金戻入額	312	1
その他	54	68
営業外収益合計	854	214
営業外費用		
支払利息	406	390
賃貸費用	259	248
持分法による投資損失	—	34
その他	64	38
営業外費用合計	729	710
経常利益又は経常損失(△)	742	△150
特別利益		
固定資産売却益	—	5
保険差益	338	1
その他	0	1
特別利益合計	338	7
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	14	5
災害による損失	61	—
ゴルフ会員権評価損	—	12
退職特別加算金	—	5
その他	13	2
特別損失合計	90	27
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	990	△170
法人税、住民税及び事業税	94	50
法人税等調整額	64	9
法人税等合計	159	60
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	830	△230
少数株主利益	17	9
四半期純利益又は四半期純損失(△)	813	△239

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	830	△230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	△70
持分法適用会社に対する持分相当額	22	62
その他の包括利益合計	△5	△8
四半期包括利益	825	△238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	810	△247
少数株主に係る四半期包括利益	15	8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	990	△170
減価償却費	1,077	1,104
負ののれん償却額	△9	△9
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△364	△205
賞与引当金の増減額(△は減少)	82	△47
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△744	△561
損害補償損失引当金の増減額(△は減少)	—	2
その他の引当金の増減額(△は減少)	15	26
退職給付引当金の増減額(△は減少)	25	△5
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△24	14
受取利息及び受取配当金	△43	△31
支払利息	406	390
持分法による投資損益(△は益)	△318	34
保険差益	△338	△1
投資有価証券評価損益(△は益)	5	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△0
有形固定資産売却損益(△は益)	0	△2
有形固定資産除却損	14	5
売上債権の増減額(△は増加)	7,275	△670
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△248	△499
たな卸資産の増減額(△は増加)	△39	△125
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,739	1,253
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△232	342
その他	546	△37
小計	3,335	805
損害賠償金の支払額	△370	—
保険金の受取額	814	1
法人税等の支払額	△81	△77
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,698	728

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	△12
定期預金の払戻による収入	—	200
有形固定資産の取得による支出	△969	△495
有形固定資産の売却による収入	0	11
無形固定資産の取得による支出	△146	△140
投資有価証券の取得による支出	△3	△21
投資有価証券の売却による収入	0	0
貸付けによる支出	△6	△8
貸付金の回収による収入	13	16
利息及び配当金の受取額	283	31
その他	9	45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△820	△373
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,581	2,005
長期借入れによる収入	5,220	3,700
長期借入金の返済による支出	△3,686	△3,335
社債の発行による収入	—	500
社債の償還による支出	△263	△105
利息の支払額	△406	△405
リース債務の返済による支出	△369	△291
配当金の支払額	△284	△170
その他	△0	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,370	1,885
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	500	2,242
現金及び現金同等物の期首残高	6,494	6,281
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 6,995	※ 8,523

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	21,738	9,652	4,092	35,483	2,994	38,477
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	409	120	—	529	95	625
計	22,147	9,772	4,092	36,013	3,089	39,103
セグメント利益又は損失(△)	1,920	△203	33	1,750	△408	1,342

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,750
「その他」の区分の損失(△)	△408
セグメント間取引消去	88
全社費用(注)	△835
その他の調整額	23
四半期連結損益計算書の営業利益	617

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	22,039	10,842	6,230	39,112	3,765	42,878
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	448	93	16	558	134	693
計	22,487	10,936	6,246	39,670	3,900	43,571
セグメント利益又は損失(△)	892	△176	47	764	39	803

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	764
「その他」の区分の利益	39
セグメント間取引消去	86
全社費用(注)	△591
その他の調整額	46
四半期連結損益計算書の営業利益	345

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

受注、販売及び繰越高の状況

(1) 受注高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	16,996	47.0	12,198	39.0	△4,798	△28.2
土木	11,605	32.1	5,178	16.6	△6,426	△55.4
建築	3,875	10.7	9,478	30.3	5,602	144.6
その他	3,698	10.2	4,424	14.1	725	19.6
合計	36,176	100.0	31,279	100.0	△4,896	△13.5

(2) 販売高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	22,147	56.6	22,487	51.6	339	1.5
土木	9,772	25.0	10,936	25.1	1,163	11.9
建築	4,092	10.5	6,246	14.3	2,153	52.6
その他	3,089	7.9	3,900	9.0	811	26.3
合計	39,103	100.0	43,571	100.0	4,468	11.4

(3) 次期繰越高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第2四半期 連結会計期間末 (平成23年9月30日)		当第2四半期 連結会計期間末 (平成24年9月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	36,874	53.9	34,365	49.8	△2,509	△6.8
土木	23,615	34.5	23,556	34.1	△58	△0.2
建築	6,567	9.6	9,820	14.2	3,252	49.5
その他	1,368	2.0	1,298	1.9	△70	△5.1
合計	68,426	100.0	69,040	100.0	614	0.9

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去していません。

2 受注高については、当第2四半期連結累計期間より鉄構セグメント内の取引について純額で表示しています。これにより、従来の表示より6,329百万円減少しています。

【訂正前】



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 川田テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東大
 コード番号 3443 URL http://www.kawada.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)川田 忠裕
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)渡邊 敏 TEL 03-3915-7722
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	42,878	11.4	345	△44.1	△464	—	△553	—
24年3月期第2四半期	38,477	△20.9	617	△79.6	768	△79.7	839	△87.8

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △618百万円(—%) 24年3月期第2四半期 826百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年3月期第2四半期	円 銭 △97.11	円 銭 —
24年3月期第2四半期	円 銭 147.39	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年3月期第2四半期	百万円 95,611	百万円 26,993	% 28.1
24年3月期	百万円 93,473	百万円 27,782	% 29.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 26,851百万円 24年3月期 27,649百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 30.00
25年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
25年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	10.3	700	6.1	0	—	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期2Q	5,781,070株	24年3月期	5,781,070株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	82,345株	24年3月期	82,068株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年3月期2Q	5,698,876株	24年3月期2Q	5,699,247株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	3
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.	四半期連結財務諸表	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	
	第2四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書	
	第2四半期連結累計期間	7
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4)	継続企業の前提に関する注記	10
(5)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6)	セグメント情報等	10
4.	補足情報	12
	受注、販売及び繰越高の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復傾向が一部で見られたものの、欧州債務問題や新興国の景気減速等、対外経済環境の不確実性の高まりを背景とした世界景気の下振れ懸念により、依然として先行き不透明な状況が続いています。

建設業界につきましては、公共工事においては震災復興関連の需要増加が見込まれていますが、国や地方の公共投資における復興予算執行の不透明性からその動きは本格化しておらず、低水準で推移しています。また、民間工事においては震災の影響で延期されていた物件の再開や復旧・復興関連需要等から回復基調で推移しているものの、依然として低価格による厳しい受注競争が続いています。

このような状況のもと、当社グループでは受注量の拡大と収益体質の確立を基本方針として、生産性及び品質の向上、受注力及び管理機能の強化、コスト削減等にグループ全社で取り組んでいます。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、受注高は31,279百万円（前年同四半期比13.5%減）、売上高は42,878百万円（前年同四半期比11.4%増）となりました。

収益面につきましては、営業利益は345百万円（前年同四半期比44.1%減）、経常損失は464百万円（前年同四半期は経常利益768百万円）、四半期純損失は553百万円（前年同四半期は四半期純利益839百万円）の計上となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

(鉄構セグメント)

鉄構セグメントにおきましては、売上高は22,487百万円（前年同四半期比1.5%増）と前年実績とほぼ同水準を確保しました。収益面では、原価低減と生産性の向上に努めましたが、建築鉄骨において超高層物件の構造体の変化や厳しい価格競争等を反映して、営業利益は892百万円（前年同四半期比53.5%減）に止まりました。

(土木セグメント)

土木セグメントにおきましては、PC橋梁工事の施工が概ね堅調に推移したことにより、売上高は10,936百万円（前年同四半期比11.9%増）となりました。収益面では、売上高は増加しましたが一時的に採算の厳しい工事の出来高が上がったことなどにより、営業損失176百万円（前年同四半期は営業損失203百万円）と採算を確保するには至りませんでした。

(建築セグメント)

建築セグメントにおきましては、大型案件を含む非住宅系建物の需要が堅調に推移していることに伴い施工高が増加し、売上高は6,246百万円（前年同四半期比52.6%増）となりました。収益面では、継続的なコスト削減に努めた結果、営業利益47百万円（前年同四半期比42.3%増）の計上となりました。

(その他)

その他におきましては、売上高は3,900百万円（前年同四半期比26.3%増）と前年実績に比べ増収となりました。収益面では、連結各社において採算性の改善、販売費及び一般管理費の縮減に努めた結果、営業利益39百万円（前年同四半期は営業損失408百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間における「資産の部」は、95,611百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,137百万円増加しました。これは主に短期借入による資金調達の増加により、現金預金が2,254百万円増加したことによるものであります。

また、「負債の部」は、68,617百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,927百万円増加しました。これは主に支払手形・工事未払金等が1,252百万円増加したこと及び短期借入金が2,005百万円増加したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は26,993百万円となり、前連結会計年度末に比べ789百万円減少しました。これは主に配当を170百万円実施し当四半期純損失を553百万円計上した結果、利益剰余金が減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前期末の29.6%から28.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ、2,242百万円増加し8,523百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、728百万円の資金増加（前年同四半期連結累計期間は3,938百万円の資金増加）となりました。これは主に仕入債務の増加等による資金の増加があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、373百万円の資金減少（前年同四半期連結累計期間は1,060百万円の資金減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得等による資金の減少があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,885百万円の資金増加（前年同四半期連結累計期間は2,370百万円の資金減少）となりました。これは主に短期借入金の借入による資金の増加があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点で合理的に把握出来るものを反映した結果、通期業績予想につきましては、平成24年8月9日公表の連結業績予想の内容と変更ございません。なお、今後何らかの変化が認識された場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	6,362	8,617
受取手形・完成工事未収入金等	33,043	33,713
未成工事支出金	696	1,196
その他のたな卸資産	646	772
繰延税金資産	17	9
その他	2,250	1,848
貸倒引当金	△217	△11
流動資産合計	42,799	46,145
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	5,160	5,120
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	1,460	1,360
航空機（純額）	1,512	1,343
土地	16,985	16,985
リース資産（純額）	2,543	2,320
建設仮勘定	27	90
有形固定資産合計	27,690	27,222
無形固定資産	880	854
投資その他の資産		
投資有価証券	882	777
関係会社株式	19,001	18,657
長期貸付金	526	518
その他	2,379	2,124
貸倒引当金	△703	△701
投資その他の資産合計	22,086	21,377
固定資産合計	50,658	49,454
繰延資産		
創立費	15	11
繰延資産合計	15	11
資産合計	93,473	95,611

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	20,517	21,770
短期借入金	7,765	9,770
1年内返済予定の長期借入金	6,168	6,663
1年内償還予定の社債	160	210
未払法人税等	78	51
未成工事受入金	3,343	3,686
賞与引当金	792	745
完成工事補償引当金	94	121
工事損失引当金	2,403	1,842
損害補償損失引当金	808	810
資産除去債務	5	5
その他	3,313	2,790
流動負債合計	45,453	48,467
固定負債		
社債	275	620
長期借入金	11,557	11,427
繰延税金負債	119	84
再評価に係る繰延税金負債	1,948	1,948
退職給付引当金	3,207	3,201
役員退職慰労引当金	254	268
事業構造改善引当金	40	40
資産除去債務	142	142
負ののれん	597	576
その他	2,096	1,839
固定負債合計	20,237	20,149
負債合計	65,690	68,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	10,368	10,368
利益剰余金	12,063	11,339
自己株式	△276	△277
株主資本合計	27,154	26,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99	26
土地再評価差額金	394	394
その他の包括利益累計額合計	494	421
少数株主持分	133	141
純資産合計	27,782	26,993
負債純資産合計	93,473	95,611

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	38,477	42,878
売上原価	34,771	39,786
売上総利益	3,706	3,092
販売費及び一般管理費	3,088	2,747
営業利益	617	345
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	38	26
受取賃貸料	115	102
負ののれん償却額	21	21
持分法による投資利益	333	—
貸倒引当金戻入額	312	1
その他	54	68
営業外収益合計	880	225
営業外費用		
支払利息	406	390
賃貸費用	259	248
持分法による投資損失	—	358
その他	64	38
営業外費用合計	729	1,035
経常利益又は経常損失(△)	768	△464
特別利益		
固定資産売却益	—	5
保険差益	338	1
その他	0	1
特別利益合計	338	7
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	14	5
災害による損失	61	—
ゴルフ会員権評価損	—	12
退職特別加算金	—	5
その他	13	2
特別損失合計	90	27
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,016	△483
法人税、住民税及び事業税	94	50
法人税等調整額	64	9
法人税等合計	159	60
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	857	△543
少数株主利益	17	9
四半期純利益又は四半期純損失(△)	839	△553

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	857	△543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	△70
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△3
その他の包括利益合計	△30	△74
四半期包括利益	826	△618
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	811	△626
少数株主に係る四半期包括利益	15	8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,016	△483
減価償却費	1,077	1,104
負ののれん償却額	△20	△20
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△364	△205
賞与引当金の増減額(△は減少)	82	△47
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△744	△561
損害補償損失引当金の増減額(△は減少)	—	2
その他の引当金の増減額(△は減少)	15	26
退職給付引当金の増減額(△は減少)	25	△5
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△24	14
受取利息及び受取配当金	△43	△31
支払利息	406	390
持分法による投資損益(△は益)	△333	358
保険差益	△338	△1
投資有価証券評価損益(△は益)	5	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△0
有形固定資産売却損益(△は益)	0	△2
有形固定資産除却損	14	5
売上債権の増減額(△は増加)	7,275	△670
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△248	△499
たな卸資産の増減額(△は増加)	△39	△125
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,739	1,253
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△232	342
その他	786	△37
小計	3,575	805
損害賠償金の支払額	△370	—
保険金の受取額	814	1
法人税等の支払額	△81	△77
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,938	728

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	△12
定期預金の払戻による収入	—	200
有形固定資産の取得による支出	△969	△495
有形固定資産の売却による収入	0	11
無形固定資産の取得による支出	△146	△140
投資有価証券の取得による支出	△3	△21
投資有価証券の売却による収入	0	0
貸付けによる支出	△6	△8
貸付金の回収による収入	13	16
利息及び配当金の受取額	43	31
その他	9	45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,060	△373
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,581	2,005
長期借入れによる収入	5,220	3,700
長期借入金の返済による支出	△3,686	△3,335
社債の発行による収入	—	500
社債の償還による支出	△263	△105
利息の支払額	△406	△405
リース債務の返済による支出	△369	△291
配当金の支払額	△284	△170
その他	△0	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,370	1,885
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	500	2,242
現金及び現金同等物の期首残高	6,494	6,281
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,995	8,523

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	21,738	9,652	4,092	35,483	2,994	38,477
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	409	120	—	529	95	625
計	22,147	9,772	4,092	36,013	3,089	39,103
セグメント利益又は損失(△)	1,920	△203	33	1,750	△408	1,342

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,750
「その他」の区分の損失(△)	△408
セグメント間取引消去	88
全社費用(注)	△835
その他の調整額	23
四半期連結損益計算書の営業利益	617

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	22,039	10,842	6,230	39,112	3,765	42,878
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	448	93	16	558	134	693
計	22,487	10,936	6,246	39,670	3,900	43,571
セグメント利益又は損失(△)	892	△176	47	764	39	803

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	764
「その他」の区分の利益	39
セグメント間取引消去	86
全社費用(注)	△591
その他の調整額	46
四半期連結損益計算書の営業利益	345

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

受注、販売及び繰越高の状況

(1) 受注高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	16,996	47.0	12,198	39.0	△4,798	△28.2
土木	11,605	32.1	5,178	16.6	△6,426	△55.4
建築	3,875	10.7	9,478	30.3	5,602	144.6
その他	3,698	10.2	4,424	14.1	725	19.6
合計	36,176	100.0	31,279	100.0	△4,896	△13.5

(2) 販売高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	22,147	56.6	22,487	51.6	339	1.5
土木	9,772	25.0	10,936	25.1	1,163	11.9
建築	4,092	10.5	6,246	14.3	2,153	52.6
その他	3,089	7.9	3,900	9.0	811	26.3
合計	39,103	100.0	43,571	100.0	4,468	11.4

(3) 次期繰越高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第2四半期 連結会計期間末 (平成23年9月30日)		当第2四半期 連結会計期間末 (平成24年9月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	36,874	53.9	34,365	49.8	△2,509	△6.8
土木	23,615	34.5	23,556	34.1	△58	△0.2
建築	6,567	9.6	9,820	14.2	3,252	49.5
その他	1,368	2.0	1,298	1.9	△70	△5.1
合計	68,426	100.0	69,040	100.0	614	0.9

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去していません。

2 受注高については、当第2四半期連結累計期間より鉄構セグメント内の取引について純額で表示しています。これにより、従来の表示より6,329百万円減少しています。